

NO 1	芝浦一丁目計画における省CO ₂ 先導事業	野村不動産株式会社 野村不動産ビルディング株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 東京ガス野村不動産エナジー株式会社		
提案概要	東京都心の大規模複合施設の段階的な建替プロジェクト。健康で快適なまちの創造をテーマに、次世代のテナントビルのあるべき姿とCO ₂ 削減の両立に向けて、ウェルネスオフィスの実現、各種省エネ対策によるZEB Orientedの達成を図るとともに、将来的には再生可能エネルギー由来電力等の導入によって、カーボンニュートラルの実現を目指す。			
事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅・一般部門)
	建物名称	芝浦一丁目計画(S棟)	所在地	東京都港区
	用途	事務所 物販店 飲食店 集会所 病院 ホテル	延床面積	267,944.63 m ²
	設計者	株式会社楨総合計画事務所、オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド、株式会社日建設計、清水建設株式会社	施工者	清水建設株式会社
	事業期間	2021年度～2024年度		

概評	都心の大規模プロジェクトとして、ウェルネスオフィスの実現や各種環境認証に積極的に取り組み、カーボンニュートラルを目指す取り組みは先導的と評価した。既存の地域冷暖房施設とも連携し、コージェネレーションシステムを活用したカーボンニュートラルのモデルとなることを期待する。
----	---

参考図

第I期(S棟)

34～43階
ホテル

7～33階
事務所

眺望

1～6階
商業
設備諸室

DHC

燃料電池
CO₂回収利用装置

既存DHC
との連携

提案 1

オフィスの健康と省CO₂を両立する次世代オフィス環境の実現

- 1-1 ハイブリッド（放射＋対流）空調
- 1-2 新規開発冷媒レヒート型除湿空調機
- 1-3 多機能画像センサー

提案 2

水際の眺望を最大限生かした快適で省エネな窓際空間の創出

- 2-1 大型エアフローウィンドウ
- 2-2 自然換気ホッパー

提案 3

将来のカーボンニュートラル実現と拡張性を見据えた高効率DHCの導入

- ・ 既存のDHCとの連携
- ・ DHC内に燃料電池とCO₂回収利用装置を設置

提案 4

災害に強い自立分散型エネルギーシステムと省CO₂の両立

- ・ コージェネレーションシステムによるBCPと省CO₂の両立
- ・ 重要施設の地上階設置